

科目	作物
----	----

担当者名 宮原 靖之 西山 武和

教 科		農 業	単位数	3	学科・学年	生産科学科 3 年
使用教科書		作物（実教出版）			副教材等	なし
授業の概要	作物と人間生活との関わりを学習します。また、日常生活の中で利用している稲については1年次の農業科学基礎の学習内容をより深め、特性や栽培、利用方法などを学びます。				学習の目標	①作物と人間生活との関わりを理解します。 ②作物生産の動向を理解します。 ③主要な穀物の特性と栽培方法を理解します。 ④作物の利用方法について理解します。
学 習 内 容					評価の観点・評価方法等（※学期ごとに下記の項目で評価します。）	
1 学期	1 栽培的特性 （1）栽培の現状と特性 （2）生育のすがた （3）生育と環境要因 （4）品種の特性と選びかた 2 栽培管理 （1）栽培				関心・意欲・態度	【趣旨】 地域の自然に関心を持ち、調査・研究を意欲的に行っているか。 【評価方法】 実習時の服装・出席・提出物・授業態度等で評価します。 【割合】 70%
	2 学期	2 栽培管理 （1）栽培 （2）収穫と調整 （3）品質と高価値化 （4）生育と収量の診断 3 栽培計画と評価 （1）栽培計画				思考・判断・表現
3 学期		3 栽培計画と評価 （2）栽培評価 4 農業経営の特性 （1）経営上の特性 （2）流通と経営				技能
						知識・理解
					その他	*学年の評価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。
課題提出物等	① 普段の学習状況を確認するため定期的にノートを提出します。 ② 確認のために小テストを行います。 ③ 夏休みの課題として各種作物の病害虫について調べ、レポートを提出します。 ④ 冬休みの課題として雑穀の栽培と利用について調べ、レポートを提出します。					
担当者より	1 授業は、教科書、プリントを利用した少人数での選択授業です。また、季節に応じてほ場での実習もあります。 2 農業科学基礎で学んだ稲だけでなく、他の人間生活に関わりの深い作物についても学びます。 3 作物についてより深く学べるよう意欲を持って取り組みましょう。					

